

Ⅲ 離床を行う上での基礎技術

Ⅲ-9. 床上介助手技

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□Ⅲ-9.1 ベッド上での上 方移動	□Ⅲ-9.1.1 実施目的について 理解している	□ベッド上での上方移動が必要な場面について説明できる	J-01 体位変換 脳ガイド P189		○
		□ベッド上での上方移動を実施する必要性について模擬患者に説明できる			○
	□Ⅲ-9.1.2 利点・弊害・合併 症について理解し ている	□ベッド上での上方移動する利点について説明できる	J-01 体位変換 脳ガイド P189		○
		□ベッド上での上方移動を行うことで起こりうる合併症について説明できる			○
	□Ⅲ-9.1.3 注意点・禁忌など について理解して いる	□ベッド上での上方移動が禁忌となる場合について説明できる	J-01 体位変換 完全2 P174 脳ガイド P189		○
		□ベッド上での上方移動の実施に必要なベッドの調整ができる	J-01 体位変換 完全2 P174 脳ガイド P189		○
	□Ⅲ-9.1.4 環境設定への配慮 について理解して いる	□上肢のみ動作協力できる模擬患者のベッド上での上方移動が実施できる	J-01 体位変換 完全2 P174		◇
		□下肢のみ動作協力できる模擬患者のベッド上での上方移動が実施できる			◇
		□背面に褥瘡がある場合のベッド上での上方移動が実施できる			◇
		□体格が大きい場合のベッド上での上方移動が実施できる			◇
	□Ⅲ-9.1.6 チェックポイント に沿って最終確認 ができる	□十分移動できているか確認できる	J-01 体位変換		☆
		□介助法は適切であったか確認できる			☆
		□合併症への配慮はされていたか確認できる			☆
		□移動後のポジショニングは適切にできたか確認できる			☆
□Ⅲ-9.2 ベッド上での側 方移動	□Ⅲ-9.2.1 実施目的について 理解している	□ベッド上での側方移動が必要な場面について説明できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 脳ガイド P190		○
		□ベッド上での側方移動を実施する必要性について模擬患者に説明できる			○
	□Ⅲ-9.2.2 利点・弊害・合併 症について理解し ている	□ベッド上での側方移動する利点について説明できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 脳ガイド P190		○
		□ベッド上での側方移動を行うことで起こりうる合併症について説明できる			○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅲ-9.2.3 注意点・禁忌などについて理解している	□ベッド上での側方移動が禁忌となる場合について説明できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 脳ガイド P190		○
	□Ⅲ-9.2.4 環境設定への配慮について理解している	□ベッド上での側方移動の実施に必要なベッドの調整ができる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 完全2 P175 脳ガイド P190		○
	□Ⅲ-9.2.5 側方移動が実施できる	□片側の手を仙骨に、もう片側の手を上前腸骨棘に当てることができる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 完全2 P175 脳ガイド P190		◇
		□脊椎に過度のストレスを与えず、骨盤回旋が行える			◇
		□骨盤の回旋を利用し、体幹の側方移動が行える			◇
		□肩甲帯も同様の手順で側方移動が行える			◇
		□頭部および下肢の位置を整えられる			◇
		□患者の両膝を立て、骨盤周囲からの介助にて体幹の側方移動が行える			◇
		□患者の肩峰および大転子の摩擦軽減に配慮し側臥位にできる			◇
		□骨盤前後から患者を支え側方移動ができる			◇
		□肩峰も同様に行える			◇
		□頭部および下肢の位置を整えられる			◇
		□患者を前腕に乗せ（バスタオル使用時は患者の近くを持ち）介助者同士タイミングをあわせて側方移動が行える			◇
	□Ⅲ-9.2.6 チェックポイントに沿って最終確認ができる	□十分移動できているか確認できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 脳ガイド P190		☆
		□介助法は適切であったか確認できる			☆
		□合併症への配慮はされていたか確認できる			☆
		□移動後のポジショニングは適切にできたか確認できる			☆
□Ⅲ-9.3 起き上がり	□Ⅲ-9.3.1 実施目的について理解している	□起き上がり介助が必要な場面について説明できる	K-05 実技入門 J-08 人工実技 完全2 P181-P182 脳ガイド P192-P193		○
	□Ⅲ-9.3.2 利点・弊害・合併症について理解している	□起き上がり介助を行う利点について説明できる	K-05 実技入門 J-08 人工実技 完全2 P181-P182 脳ガイド P192-P193		○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
		<input type="checkbox"/> 起き上がり介助を行うことで起こりうる合併症について説明できる			○
	□Ⅲ-9.3.3 注意点・禁忌などについて理解している	<input type="checkbox"/> 起き上り介助が禁忌となる場合について説明できる	K-05 実技入門 J-08 人工実技		○
	□Ⅲ-9.3.4 実施における留意点について理解している	<input type="checkbox"/> 起立性低血圧や起き上がり・端坐位に慣れていない患者について留意することができる	K-05 実技入門 J-08 人工実技 完全2 P181-P182 脳ガイド P192-P193		○
	□Ⅲ-9.3.5 環境設定への配慮について理解している	<input type="checkbox"/> 起き上がり実施に必要なベッドの調整ができる	K-05 実技入門 J-08 人工実技 完全2 P181-P182 脳ガイド P192-P193		○
	□Ⅲ-9.3.6 起き上がりが実施できる	<input type="checkbox"/> 適切な位置までヘッドアップができる	K-04 ベーシック K-05 実技入門 J-08 人工実技 完全2 P182 脳ガイド P193		◇
		<input type="checkbox"/> 適切な位置で側臥位がとれる			◇
		<input type="checkbox"/> 腰を中心に下肢を下ろしながら上半身を起こすことができる			◇
		<input type="checkbox"/> 上肢の協力が得られる場合は残存機能を発揮させながら介助を行える			◇
		<input type="checkbox"/> 肩甲帯および下肢の介助により臀部を中心に回転しながら端坐位まで介助が行える			◇
	□Ⅲ-9.3.7 チェックポイントに沿って最終確認ができる	<input type="checkbox"/> 起立性低血圧への配慮はできているか確認できる	K-04 ベーシック K-05 実技入門 J-08 人工実技		☆
		<input type="checkbox"/> 患者の状況に合わせた介助法は適切であったか確認できる			☆
		<input type="checkbox"/> 合併症への配慮はされていたか確認できる			☆
		<input type="checkbox"/> 移動後のポジショニングは適切にできたか確認できる			☆
□Ⅲ-9.4 いざり動作	□Ⅲ-9.4.1 実施目的について理解している	<input type="checkbox"/> いざり動作が必要な場面について説明できる			○
	□Ⅲ-9.4.2 利点・弊害・合併症について理解している	<input type="checkbox"/> いざり動作を行う利点について説明できる			○
		<input type="checkbox"/> いざり動作を行うことで起こりうる合併症について説明できる			○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅲ-9.4.3 注意点・禁忌などについて理解している	□いざり動作が禁忌となる場合について説明できる			○
	□Ⅲ-9.4.4 実施における留意点について理解している	□実施における留意点について説明できる	完全2 P182-P183		○
	□Ⅲ-9.4.5 環境設定への配慮について理解している	□実施に必要なベッドの調整ができる	完全2 P182-P183		○
	□Ⅲ-9.4.6 いざり動作が実施できる	□患者の残存機能を把握し、適切な部分を介助できる	完全2 P182-P183		◇
		□点滴類などに配慮した介助が行える			◇
		□摩擦などによる合併症に配慮した動作が行える			◇
	□Ⅲ-9.4.7 チェックポイントに沿って最終確認ができる	□残存機能の把握はできているか確認できる			☆
		□患者の状況に合わせた介助法は適切であったか確認できる			☆
		□合併症への配慮はされていたか確認できる			☆
		□移動中の動作は適切にできたか確認できる			☆

Ⅲ-9
床上介助手技

大項目	中項目	小項目	確認印
／ 4	／ 26	／ 63	

中項目の点数は P153 に転記して下さい